産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 7 日

熊本市長 (宛)

提出者

住所 熊本県熊本市南区八幡一丁目1番1号

氏名 | ネネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング株式会社 川尻 工場 工場長 伊東 謙 一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 096-311-6682(担当:福井)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ルネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング株式会社 川尻工場									
事業場の所在地	熊本県熊本市南区八幡一丁目1番1号									
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで									

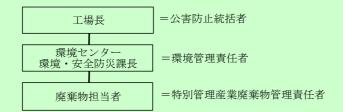
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業(28)
②事業の規模	売上高 298億円(2023年1月~12月実績)
③従業員数	880名(2024年4月現在)
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	汚泥 → 混合/混錬/コンクリート固化/脱水等 → セメント原料等(再生利用)/埋 庶油 → 燃料化/溶融等 → セメント燃料等(再生利用) 廃酸 → 中和/焼却等 → セメント原料等(再生利用) 廃プラ → 破砕/溶融等 → セメント燃料等(再生利用) 木くず → 破砕 → 再生利用 金属くず → 破砕/溶融 → 再生利用 ガラスくず等 → 溶融/焼却 → セメント原料等(再生利用) がれき類 → 破砕 → 再生利用

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (令和	5年度)実	:績 】						
Ę	リ 現 産業廃棄物の種類 犬	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチ ック	木くず	金属くず	ガラスくず 等	がれき類
	排出量	661. 18 t	178. 54 t	312. 28 t	105. 72 t	3. 67 t	82. 37 t	6. 55 t	613. 84 t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

- ・剥離廃油の源流からの油水分離回収展開による産廃排出量削減・濃縮調整等による汚泥量削減・生産装置の条件変更による廃油/廃酸排出量削減

【目標】

計画	産業廃棄物の種類 汚泥			廃油	廃酸		廃プラスチ ック		木くず		金属くず		ガラスくず 等		がれき類	
	排出量	660. 00	t	175. 00	t	310.00	t	105. 00	t	3. 50 t	ŧ	82. 00	t	6. 50	t	600.00 t
	産業廃棄物の種類												Ī			
	排出量		t		t		t		t	i	ŧ	1	t	1	t	t

(今後実施する予定の計画)

- ・濃縮調整等による汚泥量削減・生産装置の条件変更による廃油/廃酸排出量削減・汚泥処理施設の更新による汚泥量削減

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①現状

・廃油、廃酸 等全ての産業廃棄物の品目別分別回収・廃棄実施中

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

② 計 画

新規廃棄物発生時の分別回収・廃棄の推進

- \	【前年度 (令和	5 年度)	 E績】											
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃プラスチ ック	木くず		金属くず		ガラスくず 等	がれき	類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0. 00	t		0.00	t	0.00	t		t 0.00	
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類														
	自ら再生利用を行った		t		t		t	t		t		t		t	
	産業廃棄物の量 (これまでに実施し	<u> </u> した取組)	•				_			•		_			
	(=,000,000,000,000,000,000,000,000,000,0														
	_														
-	【目標】														
2 計		汚泥		廃油		廃酸		廃プラスチ	木くず		金属くず		ガラスくず	がれき	類
画	産未発来物の種類 自ら再生利用を行う							ック					等		
	産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0. 00	t	0. 00 t	0.00	t	0.00	t	0. 00	t 0.00	
	産業廃棄物の種類														
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t		t		t	t		t		t		t	
	(今後実施する予定	との計画)													
	_														
Ьí	- 行う産業廃棄物の中	間処理に	関する	事項											
1)	【前年度 (令和	5 年度)												
	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃プラスチ ック	木くず		金属くず		ガラスくず 等	がれき	類
	自ら熱回収を行った	0. 00	t	0.00	t	0. 00	t	0. 00 t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t 0.00	
	産業廃棄物の量														
	自ら中間処理により	0 00		l n nn		0 00		0 00 +			0 00		0 00		
		0. 00	t	0.00	t	0. 00	t	0. 00 t	0.00	t	0.00	t	0. 00	t 0.00	
	自ら中間処理により	0. 00	t	0.00	t	0.00	t	0. 00 t	0.00	t	0. 00	t	0.00	t 0.00	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った	0.00	t		t		t			t		t		t 0.00	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類	0.00	t		t		t	t		t		t		t	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量							t							
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により		t		t		t	t		t		t		t	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量		t		t		t	t		t		t		t	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の種類 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し		t		t		t	t		t		t		t	
2	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し	した取組)	t		t		t	t		t		t		t	
2	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の種類 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し		t		t		t	t		t		t		t	
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し 一	した取組)	t	廃油	t	廃酸	t	た t をプラスチ ック	木くず	t	金属くず	t	ガラスくず等	t	類
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し 一 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施し 一	た取組) 汚泥 0.00	t	廃油 0.00	t	廃酸 0.00	t	た 大 で で で で で で で で で で の の の の の の の の の	木くず 0.00	t	金属くず 0.00	t	ガラス くず 等 0.00	t t t がれき t 0.00	類
2計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し 一 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら熱の取を行う 産業廃棄物の量 自ら熱の取を行う 産業廃棄物の量 はより減量する産業廃棄物の量	た取組)	t	廃油 0.00	t	廃酸	t	た ま で か で で で で で で で で の の の の の の の の の の	木くず 0.00	t	金属くず 0.00	t	ガラスくず 等 0.00	t t	類
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施し 一 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱原棄物の量 自ら中間のより 減量する産業を動産した 産業廃棄物の種類 を業務をの量 自ら中間のより 減量する産業を変物の種類	た取組) 汚泥 0.00	t	廃油 0.00	t	廃酸 0.00	t	た 大 で で で で で で で で で で の の の の の の の の の	木くず 0.00	t	金属くず 0.00	t	ガラス くず 等 0.00	t t t がれき t 0.00	類
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄処理に乗業物の量 (これまでに実施し 一 【目標】 産業廃棄側のを行う 産業廃棄物の種う 産業廃配のより 減量する産業物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の種 自ら熱回収を行う	た取組) 汚泥 0.00	t	廃油 0.00 0.00	t	廃酸 0.00 0.00	t	た 大 で で で で で で で で で で の の の の の の の の の	木くず 0.00	t	金属くず 0.00 0.00	t	ガラスくず 等 0.00 0.00	t t t がれき t 0.00	類
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃事物の量 自ら熱回棄物の量 自ら熱回棄物の量 自ら熱回棄処理業廃間のより 減量しれまでにに実施し 一 【目標】 産業・中たたまでに実施し 一 【目標】 産業・中での量 自ら業をでした。 でに実施し 一 【目標】 産業・中での ののでででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	大・取組) 汚泥 0.00 0.00	t	廃油 0.00 0.00	t t t	廃酸 0.00 0.00	t	廃プラスチック 0.00 t	木くず 0.00	t	金属くず 0.00 0.00	t	ガラスくず 等 0.00 0.00	がれき t 0.00 t 0.00	類
2計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄処理により 減量した産業廃電のより 減量したまでに実施し 一 【目標】 産業廃棄側の産業廃棄物の 自ら熱回収を行った 産業廃電のより 減量する産業物の種 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の 種う 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の 種う 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の 種う 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の 種う 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の 種う 自ら熱回収を行った 産業廃電の を発見した。 を発見し、 を発し、 を発し、 を発し、 を発し、 を発し、 を発し、 を発し、 を発	た取組) 汚泥 0.00 0.00	t	廃油 0.00 0.00	t t	廃酸 0.00 0.00	ttt	廃プラスチック 0.00 t	木くず 0.00	t	金属くず 0.00 0.00	ttt	ガラスくず 等 0.00 0.00	がれき t 0.00	類

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

١		【前年度 (令和	5 年度) 実	:績】						
	現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチ ック	木くず	金属くず	ガラスくず 等	がれき類
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

【目標】

1	<u>_</u>	【目標】								
	2 計 画	産業廃業物の種類	汚泥	廃油		廃プラスチ ック	木くず	金属くず	ガラスくず 等	がれき類
ľ		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t	0. 00 t
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度 (令和	5年度)	実	:績】												٦
現状	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油	廃酸		廃プラスチ ック		木くず	金	金属くず		ガラスくず 等	カ	がれき類	
	全処理委託量	661. 18	t	178. 54 t	312. 28	t	105. 72	t	3. 67 t	:	82. 37	t	6. 55 t	:	613. 84	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	476. 63	t	173. 86 t	293. 47	t	98. 10	t	3. 67 t		82. 37	t	6. 55 t	:	613. 84	t
	再生利用業者 への処理委託量	0. 00	t	0. 00 t	0.00	t	0.00	t	0. 00 t		0. 00	t	0. 00 t	:	0. 00	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	0. 00	t	0. 00 t	0. 00	t	0.00	t	0. 00 t		0. 00	t	0. 00 t		0. 00	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0. 00	t	0. 00 t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00 t		0. 00	t	0. 00 t		0. 00	t
	産業廃棄物の種類															
	全処理委託量		t	t		t	1	t	t			t	t			t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	t		t	1	t	t			t	t			t
	再生利用業者 への処理委託量		t	t		t	1	t	t			t	t			t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t	t		t	1	t	t	:		t	t			t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t	t		t	1	t	t			t	t			t

(これまでに実施した取組)

- ・剥離廃油の源流からの油水分離回収展開による産廃排出量削減 ・研削汚泥廃液中の有害物質削減による下水放流化(産廃排出量削減) ・生産設備の条件変更による廃油/廃酸排出量削減

1	【目標】							_		_		_			_	
① 計 画	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃プラスチ ック	-	木くず	Ī	金属くず	ガラスくず 等		がれき類	
	全処理委託量	660.00	t	175. 00	t	310.00	t	105. 00	t	3. 50 t		82. 00 t	6. 50	t	600.00	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	475. 00	t	170. 00	t	290. 00	t	98. 00	t	3. 50 t		82. 00 t	6. 50	t	600.00	t
	再生利用業者 への処理委託量	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00 t		0. 00 t	0. 00	t	0. 00	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t	0.00	t	0. 00 t		0. 00 t	0. 00	t	0. 00	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00	t	0. 00 t		0. 00 t	0. 00	t	0. 00	t
	産業廃棄物の種類										T					
	全処理委託量		t		t		t		t	t		t		t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t	t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t	t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t	t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t	t		t		t		t

- 濃縮調整等による汚泥量削減 生産装置の条件変更による廃油/廃酸排出量削減

※事務処理欄

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第	面	について